

西日本豪雨では、皆様のご家族並びにご親戚、ご友人の方々はご無事だったでしょうか。家屋や田畑等は大丈夫だったでしょうか。被害に遭われた方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。また、本日11日の放送朝礼でも、お亡くなりになった方々への弔意と被災された方々へのお見舞いを申し上げさせていただきました。そして、次のような話をしました。

おはようございます。

最初に、この度の西日本豪雨でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げると共に、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

児童の皆さん、元気ですか。幸いなことに、船穂小学校では大きな被害に遭った人はいませんでした。今日、ここにこうして無事に皆さんにお話できることを心から喜びたいと思います。豪雨の中、不安な思いや恐い思いをした人もいたと思いますが、もう大丈夫です。今、たくさんの大人の人たちが頑張って、救援活動をしています。復興に向けて、動き始めています。児童の皆さんは安心して、以前と同じように落ち着いた態度で生活しましょう。中には、イライラしたり、落ち着かなかつたりする人がいるかもしれませんが、それは、仕方のないことです。ショックのあと、そうなることがあるからです。そんなときは、一人で悩まずに、どんなことでもおうちの人や先生たちに話してください。おうちの人や先生たちも、みなさんの気持ちをしっかりと受け止めてくれると思います。

今回、被害に遭って、家に住めなくなった人たちがたくさんいます。船穂小学校は避難所になって、今も体育館には大勢の人たちが生活しています。人は、困ったときには、助け合なくてはなりません。

実は、被害が出たそのときから、たくさんの人たちが素早く動いて、避難してこられた人たちのお世話をしてきました。その中には、皆さんのおうちの人や地域の人たちもたくさんいます。今日も、避難してこられた人たちのために、大勢の人たちがご飯を作りに来ています。大勢の人たちが、服やタオルなどの救援物資を運び込んでいます。大人の人たちは、そうやって被害に遭って困っている人たちを助けています。

船穂小学校の児童の皆さんにもできることがあります。

一つ目は、避難している方たちへ優しい気持ちをもってほしいということです。不幸にも災害に遭い、大変困っている方々です。そして、自分たちもいつ災害に遭うかもしれません。人ごとではありません。お会いしたときには、優しさや励ましの気持ちを込めて、最上級のあいさつをしてほしいと思います。

もう一つは、学校の一部を、避難されている人たちに使ってもらおうということです。体育館と家庭科室は、避難している人たちやボランティアの人たちに使っていただくことにしました。特に体育館には、傷つきくたびれて、横になって休んでいる人たちがたくさんおられます。体育館や家庭科室の近くで大騒ぎをしたり、勝手に入って行って邪魔をしたりしないようにしましょう。運動場へは、避難しに来た方の自動車や救急車がいつ入ってくるか分かりません。運動場に線を引きしています。そこから南側へは行かないようにしてください。

以上が、みなさんが協力できることです。

今、日本中が、被害に遭われた方たちを救おうと動き始めています。皆さんは、その最前線に立っています。この、世の中が大変な時期に、皆さんがどう行動するかで、多くの人たちが救われます。そして、そのことが皆さんの成長にとっても大きな意味があると思います。皆さんの人生で一生に一度ぐらいの出来事が起きています。よく考えて行動しましょう。船穂小学校の皆さんなら、大丈夫だと信じています。

お話を終わります。

親師会の皆様、ありがとうございます。子どもたちには、親師会の動きのすばらしさ、チームワークのよさ、優しさと思いやりの精神、そして、そんな船穂に住んでいることを誇りに思ってもらいたいです。このような非常時にこそ結束を固め、人々のために力を尽くそうとされる親師会の皆様に心より敬意を表します。

終業式まであと6日となりました。学校としましては、避難所運営の一端を担いながらも、子どもたちとの1日1日を大切にしながら、学期のまとめをしていきたいと思っています。

保護者の皆様からお願いがあります。保護者の皆様ご自身を含めて、お子様のメンタルケアをお願いします。被災していればもちろんですが、そうでない方も、生命の危険を身近に感じ、あるいは悲惨な災害状況を見聞きし、自分のことのように心配することで、知らず知らずのうちに過剰な心的ストレスを負っていると思われる。気付いていない場合も多いと思います。いつも以上に気を張っていることも多分にあると思います。親師会としてボランティアで活動してくださっている方々も同様です。頑張りすぎて、心身のバランスが崩れてしまわないように、自分のこと、互いのこと、お子様の様子にいつも以上に気を配ってください。決して無理をしないように、ご家族で声を掛け合い、支え合い、いたわり合ってください。

大変な時ですが、大事な時です。どうぞよろしく願いいたします。